



今年の災害における防災上の課題



雨の降り方が変わってきている

- ✧ 30年前と比較して1.5倍程度になっている
- (時間雨量60mm以上の降雨の回数)

近年の集中豪雨の特徴

- ✧ 極めて限られた地域に、短時間に集中的な雨が降る
 - 川の水位が一気に上昇する
 - 河川の堤防が決壊して一挙に水が氾濫する
 - このため、多くの犠牲者を出した

今年の災害に見る課題

- ✧ 緊急時の体制
 - 情報連絡体制、早期避難体制の充実
- ✧ 災害弱者
 - 高齢者などへの対策

平時にどう備えるべきか

✧ 地域住民

- 自分たちの土地の特徴を知っておくこと
 - どのようなタイプの災害に遭うのか
 - どの程度の浸水になるのか
 - これらのいわゆる環境認識

✧ ハザードマップ

- 地域ごとの浸水予測図
 - 整備が必要
 - また、受け取り手がよくわかるように作成

防災コミュニティの必要性

✧ 豪雨災害の増加

- 異常気象の多発、台風の大型化

✧ 堤防整備(ハード整備)は万能ではない

- 自然は往々にして人間の予測を超える

✧ ハードとソフト

- 施設整備と情報連絡・警戒避難の両面

✧ 大災害は行政の限界を超える

- 地域の対応が重要 → 自助・共助

✧ だからこそ防災コミュニティが重要

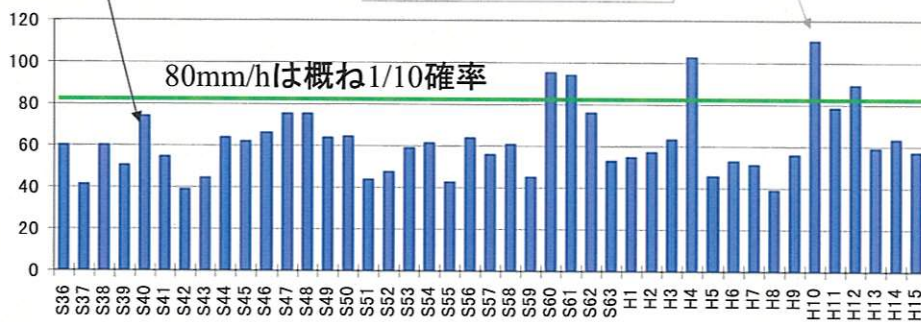
集中豪雨の頻発

【那覇市における1時間最大降雨(S36~H15の43年間)】

平成10年の降雨を確率評価すると概ね100年に一度発生する降雨

1時間降水量

近年、雨の降り方が激しくなる傾向にある

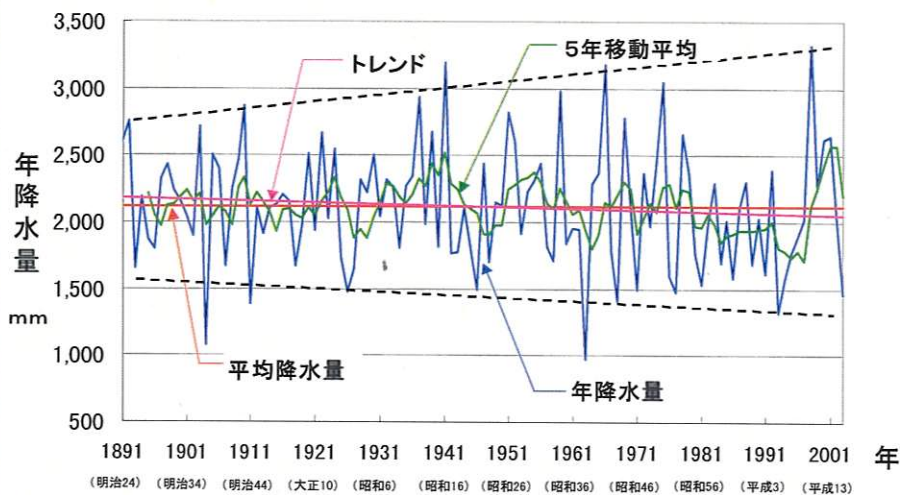


近傍20年間で1/10確率以上の降雨が5回発生

少雨と多雨の多発

【那覇の年降水量の経年変化】

(1891年~2003年)



今年の水害で顕在化した課題

- (1) 破堤により被害拡大
- (2) 避難勧告の遅れ
- (3) 災害弱者が被災



(近畿地方整備局HPより)

福井市木田橋上流左岸破堤箇所



(北陸地方整備局HPより)

※65歳以上の女性の5.6人に1人は単身者